

平成28年度山形県立博物館 考古学講座

— 古代の村山 —

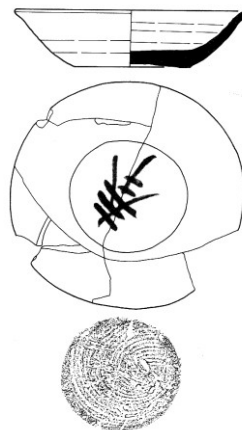
近年、大規模な開発事業に伴い、山形県埋蔵文化財センターおよび市町村教育委員会によって発掘調査が行われ、豊富な調査資料が得られています。本講座は、これらの資料を有効活用し、埋蔵文化財の保護と普及を目的に、博物館の教育普及活動として行うものです。今回は県中心部村山地方の古代の遺跡について、発掘調査のようすをまじえながらお話しいたします。

- 日時** 平成28年10月22日／11月12日／12月10日／平成28年1月21日／計4回（土曜日・午後1時30分～3時00分まで ※終了時間が少々延びる場合もあります。）
- 会場** 山形県立博物館 講堂
- 対象** 一般・定員50名
- 申込み** 参加無料・申し込みは不要
- 講演のテーマと講師**

日時	テーマ	講師
10月22日	「野後駅(のじりえき)擬定地を 探る」 大石田町駒籠橋跡	竹田 純子 氏 (山形県教育庁文化財・ 生涯学習課主査)
11月12日	「墨書土器が語る古代の暮らし」 寒河江市三条遺跡	高桑 弘美 氏 (公益財団法人山形県埋蔵 文化財センター総務主査)
12月10日	「炉鍛冶施設をもつムラ」 中山町達磨寺遺跡	阿部 明彦 氏 (公益財団法人山形県埋蔵文化財 センター調査員)
1月21日	「瓦を供給した生産跡」 山形市オサヤズ窯跡・小松原窯跡	伊藤 邦弘 氏 (公益財団法人山形県埋蔵文化財 センター業務課長)

6 お問い合わせ

山形県立博物館学芸課
電話 023-645-1111
FAX 023-645-1112
担当 学芸員 押切智紀



墨書土器「奉」
(寒河江市三条遺跡)